（1）3. 測量業務 業務名：

（第一次評定者　1／9）

考査項目	細　別	選択区分	評価区分	業務、管理、担当技術者	a	a’	b	b’	c	d	e
					5	－	2.5	－	0	−2.5	−5

実施能力の評価

実施体制と執行計画 (1/1)

●評価対象項目

（選択）（評定）

- [1] [ ] 1. 業務に必要な技術基準、マニュアル、共通仕様書等が十分に理解されている。
- [ ] [ ] 2. 特記仕様書等に示された当該業務と関連する他の業務、事業が理解されている。
- [1] [ ] 3. 管理技術者は、契約図書等に基づき、業務の技術上の管理を適切に行っている。
- [ ] [ ] 4. 担当技術者は、設計図書等に基づき、適正に業務を実施している。
- [ ] [ ] 5. 担当技術者は、優れた技術力や創意工夫をもって、業務の成果に貢献している。
- [1] [ ] 6. 業務の実施方針における実施方法は、本業務の目的を十分理解し、成果を得るための的確な手順、手法である。
- [1] [ ] 7. 業務の実施体制は、業務内容に応じた適切な人員配置であり、業務の停滞や手戻りを生じさせず完了させた。
- [ ] [ ] 8. 業務実施段階で判明した重要な事実等を速やかに変更業務計画書に反映し提出されている。
- [ ] [ ] 9. その他　〔　　〕（対象：管理、担当技術者）

●評価

◎評定は1～9のうち

評価値が90%以上 ・・・・・・・・・・ a

評価値が70%以上90%未満 ・・・・ b

評価値が70%未満 ・・・・・・・・・・ c

①「評価対象項目」の（選択）のうち、 [1] は必須項目とする。その他は、選択項目として該当する場合に（選択）のチェック欄にチェックし、評価対象の項目とする。

②必須項目と選択項目で選択した項目を母数として計算した比率（%）計算の値で評価する。

③評価値（　%）＝該当項目数（　）／評価対象項目数（　）

[ ] 実施体制及び執行計画について、監督職員が文書で改善指示を行った。

[ ] 実施体制及び執行計画について、監督職員の文書による改善指示に従わなかった。

（1）3. 測量業務 業務名：

（第一次評定者　2／9）

考査項目	細　別	選択区分	評価区分	業務、管理、担当技術者	a	a’	b	b’	c	d	e
					5	−	2.5	−	0	−2.5	−5
実施状況の評価	執行管理(1/2)									☐ 執行管理について、監督職員が文書で改善指示を行った。	☐ 執行管理について、監督職員の文書による改善指示に従わなかった。

●評価対象項目

（選択）（評定）

☑1	☐	1. 業務工程表は、契約締結後すみやかに提出されている。
☑1	☐	2. 契約締結後すみやかに業務等に着手している。
☑1	☐	3. テクリス(アグリス)への登録申請を監督職員の確認を受けた上ですみやかに行っている。
☑1	☐	4. 監督職員と連絡を密にとり、円滑な業務の実施に努めている。
☐	☐	5. 監督職員の指示事項に迅速に対応している。
☑1	☐	6. 打合せにおいて、業務の課題とその解決策の提案が優れている。
☑1	☐	7. 打合せにおいて、発注者が判断できる適切な資料の提示・提出がなされている。
☑1	☐	8. 打合せ記録簿は、必要事項が簡潔に整理されており、かつ、速やかに提出されている。
☐	☐	9. 支給材料がある場合、その受払状況を登録した帳簿を備え付け、常にその残高を明らかにし、業務完了時には支給品精算書を提出している。
☑1	☐	10. 業務計画書の業務工程（表）は、クリティカルポイントが明確にされている。
☑1	☐	11. 業務の進捗を図るための工夫がなされている。

（1）3. 測量業務 業務名：

（第一次評定者　3／9）

考査項目	細　別	選択区分	評価区分	業務、管理、担当技術者	a	a'	b	b'	c	d	e
					5	−	2.5	−	0	−2.5	−5
実施状況の評価	執行管理(2/2)										

●評価対象項目

（選択）（評定）

- □ □ 12. 業務計画書に安全管理に係る項目があり、適切な内容の記述がある。
- □ □ 13. 貸与された図書及び関係資料は、必要がなくなった場合にただちに返却されている。
- □ □ 14. 第三者の土地等の立ち入りにあたって、トラブルの発生がないように適切な対応を行っている。
- □ □ 15. 第三者の土地への立ち入りにあたって交付を受けた身分証明書は、立入完了後10日以内に返却されている。
- □ □ 16. 屋外作業において、第三者の安全確保に努めている。
- □ □ 17. 屋外作業において、事故が発生しないよう作業員等に安全教育の徹底を図り、指導・監督に努めている。
- 1 □ 18. 設計図書に基づき、適切な時期に履行状況が報告されている。
- □ □ 19. 休日、夜間に屋外作業を行う場合は、事前に理由を付した書面を監督職員に提出している。
- □ □ 20. その他　〔　　〕（対象：管理、担当技術者）

●評価

◎評定は1～20のうち

評価値が90%以上 ・・・・・・・・・・・ a

評価値が70%以上90%未満 ・・・・ b

評価値が70%未満 ・・・・・・・・・・・ c

①「評価対象項目」の（選択）のうち、 1 は必須項目とする。その他は、選択項目として該当する場合に（選択）のチェック欄にチェックし、評価対象の項目とする。

②必須項目と選択項目で選択した項目を母数として計算した比率（%）計算の値で評価する。

③評価値（　%）＝該当項目数（　）／評価対象項目数（　）

（1）3. 測量業務 業務名：

（第一次評定者　4／9）

考査項目	細　別	選択区分	評価区分	業務、管理、担当技術者	a	a'	b	b'	c	d	e
					10	−	5	−	0	−5	−10
				照査技術者	28	−	14	−	0	−14	−28

実施状況の評価

品質管理（1/2）

●評価対象項目

（選択）（評定）

1		1. 業務の実施にあたり、設計図書に定める技術基準等について、十分に理解した上で適用している。
1		2. 業務の実施にあたり、最新の技術基準及び参考図書並びに特記仕様書に基づき実施している。使用にあたって、事前に監督職員の確認を得ている。
		3. 技術基準等がない項目の取扱いが具体的に記述されている。
1		4. 測量精度向上のための社内基準等を設けている。
		5. 業務の実施にあたり、調査地点の確認を行い、業務実施に必要な現地の状況を把握している。調査地点の確認に際しては、調査対象項目を整理し、監督職員の承諾を得ている。
1		6. 資料の提出時に、転記・計算ミスがなく内容のチェックを行っている。
		7. 過年度からの打合せ経緯や成果を踏まえた成果となっている。
		8. 照査計画において、発注者から指摘がなかった。
		9. 管理技術者が業務実施に必要な情報を収集して把握しているかの確認を行い、その内容が適切であるかについて照査が行われている。
		10. 実施方針や方法が適切であるかの照査が適正に行われている。

d	e
品質管理について、調査職員が文書で改善指示を行った。	品質管理について、調査職員の文書による改善指示に従わなかった。

（1）3. 測量業務 業務名：

（第一次評定者　5／9）

考査項目	細　別	選択区分	評価区分	業務、管理、担当技術者	a	a’	b	b’	c	d	e
					10	－	5	－	0	−5	−10
				照査技術者	28	－	14	－	0	−14	−28

実施状況の評価

品質管理 (2/2)

●評価対象項目

（選択）（評定）

（選択）	（評定）	
□	□	11. 測量の正確性、適切性に着目し照査が適正に行われている。
□	□	12. 照査技術者は、業務の各照査段階において自身での照査を行い、照査後に発注者からの指摘がなかった。 ※発注者が特記仕様書により照査技術者の設置を求めた場合のみ選択
1	□	13. 履行段階において、状況に応じた適切な対応を行った。もしくは提案がされている。
□	□	14. 資料収集の実施に際し、貸与資料や設計図書に示す事項と照合して、資料収集対象項目を整理し、監督職員の承諾を得て実施している。
□	□	15. その他　〔　　〕（対象：管理、担当技術者）

●評価

◎評定は1～15のうち

評価値が90%以上 ・・・・・・・・・・・ a

評価値が70%以上90%未満 ・・・・ b

評価値が70%未満 ・・・・・・・・・・・ c

①「評価対象項目」の（選択）のうち、 1 は必須項目とする。その他は、選択項目として該当する場合に（選択）のチェック欄にチェックし、評価対象の項目とする。

②必須項目と選択項目で選択した項目を母数として計算した比率（%）計算の値で評価する。

③評価値（　%）＝該当項目数（　）／評価対象項目数（　）

考査項目	細　別	選択区分	評価区分	業務、管理、担当技術者	☐ a	☐ a'	☐ b	☐ b'	☐ c	d	e
					4	3	2	1	0	―	―

実施状況の評価　　創意工夫（1/1）

●評価対象項目　　項目の該当数により、４点(a)，３点(a')，２点(b)，１点(b')，０点(c)で評価する。
※ただし、特段の評価ができる場合は、該当数にとらわれず、評価する内容を総合的に判断して評価する。
（例えば、該当数が1つであっても、その内容が特に評価に値する場合は４点(a)の加算評価も可）

（選択）（評定）

☑ 1 ☐　1. 当該業務の特性を考慮しつつ、新たな、あるいは調査･解析等の手法･技術に関する提案がなされている。

☑ 1 ☐　2. 検討課題と共に今後実施すべき検討事項･方針等が提案されている。

☑ 1 ☐　3. 品質管理のための照査体制を構築させ、有効的に機能している。

☑ 1 ☐　4. 地元関係者への説明、交渉等の資料等に工夫がみられ、分かりやすく、説明しやすい。

☑ 1 ☐　5. 創意工夫、提案力等にかかる特筆すべき事項がある。
具体記述（　　）

●評価

＊業務評定、管理技術者、担当技術者の評価に反映。

●判断基準

上記の項目の該当数により、４点(a)，３点(a')，２点(b)，１点(b')，０点(c)で評価する。

※ただし、特段の評価ができる場合は、該当数にとらわれず、評価する内容を総合的に判断して評価する。

（例えば、該当数が1つであっても、その内容が特に評価に値する場合は４点(a)の加算評価も可）

（1）3. 測量業務 業務名：

（第一次評定者　7／9）

考査項目	細　別	選択区分	評価区分	業務、管理、担当技術者	a	a'	b	b'	c	d	e
					6	−	3	−	0	−3	−6
説明調整能力の評価	説明調整能力 (1/2)	●評価対象項目									

（選択）（評定）

1	☐	1. 業務の作業効率、精度を向上させる提案が自主的に行われた。
☐	☐	2. 業務の遂行上、課題や問題点が発生した場合に迅速に報告された。
1	☐	3. 疑義に対する質問や提案等が適切に行われた。
1	☐	4. 説明内容が事前に十分整理されており、打合せも円滑に行われた。
1	☐	5. 打合せ及び資料の説明において、論理的で容易に理解できる説明が行われた。
☐	☐	6. 測量業務等を実施するための関係官公庁等への手続きを速やかに行っている。
☐	☐	7. 発注者が行う関係官公庁等への手続きに際して、分かりやすく、説明しやすい資料等の作成が行われている。
☐	☐	8. 関係官公庁等及び地元関係者との手続きや交渉状況が遅滞なく報告されている。
☐	☐	9. 発注者の指示による受注者が行うべき地元関係者への説明、交渉等において、誠意をもって適切な対応が図られている。
☐	☐	10. 車輌の運転･駐車にあたって地元住民に配慮し、苦情等がなかった。
☐	☐	11. その他　〔　　〕（対象：管理、担当技術者）

d ☐ 説明調整について、監督職員が文書で改善指示を行った。

e ☐ 説明調整について、監督職員の文書による改善指示に従わなかった。

（1）3. 測量業務 業務名：

（第一次評定者　8／9）

考査項目	細　別	選択区分	評価区分	業務、管理、担当技術者	a	a’	b	b’	c	d	e
					6	－	3	－	0	−3	−6
説明調整能力の評価	説明調整能力(2/2)										

●評価

◎評定は1～11のうち

評価値が90%以上 ・・・・・・・・・・・ a

評価値が70%以上90%未満 ・・・・ b

評価値が70%未満 ・・・・・・・・・・・ c

①「評価対象項目」の（選択）のうち、 1 は必須項目とする。その他は、選択項目として該当する場合に（選択）のチェック欄にチェックし、評価対象の項目とする。

②必須項目と選択項目で選択した項目を母数として計算した比率（%）計算の値で評価する。

③評価値（　%）＝該当項目数（　）／評価対象項目数（　）

（1）3. 測量業務 業務名：

（第一次評定者　9／9）

考査項目	細　別	選択区分	評価区分	業務、管理、担当技術者	a	a’	b	b’	c	d	e
					10	－	5	－	0	－5	－10
				照査技術者	12	－	6	－	0	－6	－12

結果の評価

成果品の品質
(1/1)

●評価対象項目

（選択）（評定）

（選択）	（評定）	
1		1. 設計図書にある検討項目、業務遂行段階での指示事項が漏れなくとりまとめられている。
		2. 現地踏査の結果が、写真や図面により的確に整理されている。
		3. 写真管理が適切に行われ、状況が容易に把握できる。
1		4. 調査結果のとりまとめにおいて、ミスがなかった。
1		5. 調査結果がわかりやすく整理され、工夫が見られる。
		6. 多岐にわたる検討項目など、難易度の高い作業（業務）に対し、必要な作業（業務）成果が得られた。
1		7. 業務報告書は、業務全般の内容とそのポイントが的確に解説されとりまとめられている。
		8. その他　〔　　〕

●評価

◎評定は1～8のうち

評価値が90%以上 ・・・・・・・・・・・ a

評価値が70%以上90%未満 ・・・・ b

評価値が70%未満 ・・・・・・・・・・・ c

①「評価対象項目」の（選択）のうち、 1 は必須項目とする。その他は、選択項目として該当する場合に（選択）のチェック欄にチェックし、評価対象の項目とする。

②必須項目と選択項目で選択した項目を母数として計算した比率（%）計算の値で評価する。

③評価値（　%）＝該当項目数（　）／評価対象項目数（　）

d	e
成果品について、監督職員が文書で改善指示を行った。	成果品について、監督職員の文書による改善指示に従わなかった。

（1）3. 測量業務 業務名：

（第二次評定者　1／3）

考査項目	細　別	選択区分	評価区分	業務、管理技術者	☐ a	☐ a'	☐ b	☐ b'	☐ c	☐ d	☐ e
					10	7.5	5	2.5	0	−5	−10

実施能力の評価

実施体制と執行計画 (1/1)

●評価対象項目

（選択）（評定）

（選択）	（評定）	
1	☐	1. 管理技術者は、優れた技術力をもって、業務の技術上の管理を適切に行っている。
1	☐	2. 管理技術者は、関連のある業務等の受注者と積極かつ主導的に協議を行い相互に協力し業務を行っている。
1	☐	3. 業務計画書における実施方針は、優れた手法、技術もしくは創意工夫によるものである。
1	☐	4. 業務の効率化に関する具体的な提案がされている。
1	☐	5. 業務の実施体制において、支店・本社などの支援体制が整備されている。
1	☐	6. その他　〔　　〕

●評価

＊業務評定、管理技術者の評価に反映。

●判断基準

上記該当項目を総合的に判断して、10点(a)，7.5点(a')，5点(b)，2.5点(b')，0点(c)，－5点(d)，－10点(e)で評価する。

※第二次評定者は、第一次評定者の意見を参考に発注業務全体を視野に入れた総括的な評価を行う。
（業務履行過程での日々の対応の評価は第一次評定者が実施）

※評価にあたっては、評価対象項目の該当数だけにとらわれず、評価する内容を総合的に判断し評価する。
（例えば、該当数が1つであっても、その内容が特に評価に値する場合は10点(a)評価も可）

※業務執行上の過失として第一次評定者（第三次評定者）細別評価項目において－5点(d)または－10点(e)評価があった場合、
－5点(d)評価以下とし「その他」に理由を記載すること。

（1）3. 測量業務 業務名：

（第二次評定者　2／3）

考査項目	細　別	選択区分	評価区分	業務、管理技術者	☐ a	☐ a'	☐ b	☐ b'	☐ c	d	e
					20	15	10	7.5	0	－	－
				担当技術者	25	19	12.5	7	0	－	－

実施状況の評価

業務特性(1/1)

●評価対象項目

（選択）（評定）

1	☐	1. 現場条件や環境条件などの制約条件が多く、その対応が評価できる。
1	☐	2. 都市部等の作業環境、社会条件等への対応が評価できる。
1	☐	3. 厳しい自然、条件への対応が評価できる。
1	☐	4. 業務の特殊性への対応が評価できる。
1	☐	5. 関連する事業、工事に配慮する必要があり、その対応が評価できる。
1	☐	6. 地元関係者への説明、交渉等の資料等に工夫がみられ、評価できる。
1	☐	7. その他　〔　　〕

●評価

●判断基準

※上記の対応事項に1つ以上該当すれば業務評定、管理技術者は7.5点(b')，担当技術者は7点(b')評価以上とする。

業務評定、管理技術者は20点(a)，15点(a')，10点(b)，7.5点(b')，0点(c)で評価する。

担当技術者は25点(a)，19点(a')，12.5点(b)，7点(b')，0点(c)で評価する。

（1）3. 測量業務 業務名：

（第二次評定者　3／3）

考査項目	細　別	選択区分	評価区分	業務、管理技術者	a	a'	b	b'	c	d	e
					10	7.5	5	2.5	0	－	－
				担当技術者	15	12	7.5	4	0	－	－

取組姿勢

責任感・積極性・倫理観 (1/1)

●評価対象項目

（選択）（評定）

1		1. 業務遂行にあたって、有用な提案が行われるなど取組への積極性・責任感に対して評価できるものがあった。
1		2. 業務遂行段階において不明な点が生じた場合など、問合わせや確認が迅速になされ、確認された事項を記録し関係者に共有を図るなど評価できるものがあった
1		3. 業務遂行中、新たに発生した課題に対して、社内全体として体制の拡充を図るなど、業務を完成させるにあたり評価できるものがあった。
1		4. 地域への貢献等に関して、評価できるものがあった。
1		5. その他　〔　　〕

●評価

＊業務評定、管理技術者の評価に反映。

●判断基準

上記該当項目を総合的に判断して、業務評定、管理技術者は10点(a)，7.5点(a')，5点(b)，2.5点(b')，0点(c)で評価する。

担当技術者は15点(a)，12点(a')，7.5点(b)，4点(b')，0点(c)で評価する。

※第二次評定者は、第一次評定者の意見を参考に発注業務全体を視野に入れた総括的な評価を行う。
（業務履行過程での日々の対応の評価は第一次評定者が実施）

※評価にあたっては、評価対象項目の該当数だけにとらわれず、評価する内容を総合的に判断し評価する。
（例えば、該当数が1つであっても、その内容が特に評価に値する場合は業務評定、管理技術者は10点(a)，担当技術者は15点(a)評価も可）

（1）3．測量業務 業務名：

（第三次評定者　1／5）

考査項目	細　別	選択区分	評価区分	業務、管理技術者	a	a'	b	b'	c	d	e
					10	－	5	－	0	－5	－10

実施能力の評価

実施体制と執行計画
(1/1)

●評価対象項目

（選択）（評定）

選択	評定	
□	□	1. 管理技術者は、業務遂行段階で適切に照査技術者による照査を受け、その内容を把握して円滑な業務遂行に努めている。
1	□	2. 業務計画書は、設計図書に定められた必要な事項を記載し業務内容に適した業務計画書が提出されている。
1	□	3. 業務計画書における実施方針は、特記仕様書等の設計図書の項目を満足し指摘や修正がない。
1	□	4. 業務計画書における実施方針は、本業務の目的や内容に基づき、図表等による工夫が見られ、かつ、内容がわかりやすく記載されている。
□	□	5. 業務計画書の記載内容と測量方法が一致し、現地環境を乱さず調査していることが確認できる。
□	□	6. 再委託に付した場合、書面により協力者との契約関係が明確であり、協力者に対して適切な指導、管理を行い、かつ、委託先の成果品に対する照査を行っていることが書面で確認できる。
□	□	7. 守秘義務について具体的な計画を業務計画書等に記載している。
1	□	8. 個人情報の管理に関する管理体制等を業務計画書等に記載している。
□	□	9. その他　〔　　〕

□ 実施体制及び執行計画について、監督職員が文書で改善指示を行った。

□ 実施体制及び執行計画について、監督職員の文書による改善指示に従わなかった。

●評価

◎評定は1～9のうち
評価値が90%以上 ・・・・・・・・・・・ a
評価値が70%以上90%未満 ・・・・ b
評価値が70%未満 ・・・・・・・・・・・ c

①「評価対象項目」の（選択）のうち、 1 は必須項目とする。その他は、選択項目として該当する場合に（選択）のチェック欄にチェックし、評価対象の項目とする。

②必須項目と選択項目で選択した項目を母数として計算した比率（%）計算の値で評価する。

③評価値（　%）＝該当項目数（　）／評価対象項目数（　）

（1）3. 測量業務 業務名：

（第三次評定者　2／5）

考査項目	細　別	選択区分	評価区分	業務、管理技術者	a	a’	b	b’	c	d	e
					10	－	5	－	0	－5	－10
				担当技術者	20	－	10	－	0	－10	－20
				照査技術者	12	－	6	－	0	－6	－12

実施状況の評価

品質管理(1/2)

●評価対象項目

（選択）（評定）

☑ 1	☐	1. 設計図書の内容を十分に理解し、業務に反映している。
☐	☐	2. 照査技術者は、照査計画を作成し、照査に関する事項を定め業務計画書に記載している。 ※発注者が特記仕様書により照査技術者の設置を求めた場合のみ選択
☐	☐	3. 照査技術者は、業務期間をとおして業務の節目においてその成果の確認を行うとともに、自身による照査を行っている。 ※発注者が特記仕様書により照査技術者の設置を求めた場合のみ選択
☐	☐	4. 照査技術者は、業務完了に伴って照査結果を照査報告書としてとりまとめ、照査技術者の署名捺印の上、管理技術者に提出している。 ※発注者が特記仕様書により照査技術者の設置を求めた場合のみ選択
☑ 1	☐	5. 品質確保のための社内検査体制が確立され、その体制で検査を行ったことが確認できる。
☑ 1	☐	6.「業務計画書」において成果品の品質を確保する記述があり、かつ、当該業務の品質の管理に繋がっている。
☑ 1	☐	7. 品質管理のためのシステムが構築されており、かつ、成果への反映について確認できる。
☑ 1	☐	8. 業務遂行にあたり、チェックシート等を作成し、作業中のミス防止の実施に努めている。
☐	☐	9. その他　〔　　〕（対象：管理、担当技術者）

☐ 品質管理について、監督職員が文書で改善指示を行った。

☐ 品質管理について、監督職員の文書による改善指示に従わなかった。

（1）3. 測量業務 業務名：

（第三次評定者　3／5）

考査項目	細　別	選択区分	評価区分	業務、管理技術者	a	a’	b	b’	c	d	e
					10	－	5	－	0	−5	−10
				担当技術者	20	－	10	－	0	−10	−20
				照査技術者	12	－	6	－	0	−6	−12
実施状況の評価	品質管理(2/2)										

●評価

①「評価対象項目」の（選択）のうち、 1 は必須項目とする。その他は、選択項目として該当する場合に（選択）のチェック欄にチェックし、評価対象の項目とする。

②必須項目と選択項目で選択した項目を母数として計算した比率（%）計算の値で評価する。

③評価値（　%）＝該当項目数（　）／評価対象項目数（　）

◎評定は1～9のうち

評価値が90%以上 ・・・・・・・・・・ a

評価値が70%以上90%未満 ・・・・ b

評価値が70%未満 ・・・・・・・・・・ c

（1）3. 測量業務 業務名：

（第三次評定者　4／5）

考査項目	細　別	選択区分	評価区分	業務、管理、担当技術者	a	a'	b	b'	c	d	e
					20	−	10	−	0	−10	−20
				照査技術者	28	−	14	−	0	−14	−28

結果の評価	成果品の品質 (1/2)	●評価対象項目			d	e
		（選択）	（評定）			
		1		1. 設計図書に定められた項目及び指示事項が漏れなく整理されている。	□ 成果品について、監督職員が文書で改善指示を行った。	□ 成果品について、監督職員の文書による改善指示に従わなかった。
		1		2. 活用した技術基準や文献等の出典先が、それぞれの成果に記載され、わかりやすく整理されている。		
				3. 設計業務への引き継ぎ事項、技術的ポイントが整理されている。		
				4. 現地踏査の結果より判明した対応が必要な事項についての対策が記載されている。		
		1		5. 作業（業務）遂行段階での指示事項が漏れなく整理されている。		
		1		6. 必要書類等が整備されていた。		
		1		7. 誤字・脱漏、記載ミスなどがない。		
		1		8. 理解しづらい文章表現などがなく、わかりやすい成果となっている。		
		1		9. 個々の説明において、図や表を活用するなどわかりやすい成果となっている。		
		1		10. 全体的な構成や説明の流れが業務の目的と成果への導きとして適切にとりまとめられている。		

（1）3. 測量業務 業務名：

（第三次評定者　5／5）

考査項目	細　別	選択区分	評価区分	業務、管理、担当技術者	a	a’	b	b’	c	d	e
					20	－	10	－	0	−10	−20
				照査技術者	28	－	14	－	0	−14	−28

結果の評価

成果品の品質 (2/2)

●評価対象項目

（選択）（評定）

- [ ] [ ] 11. 成果品に引用されている図表、写真等は著作権に配慮されたものとなっている。
- [1] [ ] 12. 成果品のチェック方法に工夫が見られた。
- [ ] [ ] 13. 成果品は、独自に設定した社内基準を満足し、測量精度の向上に繋がったものである。
- [ ] [ ] 14. その他　〔 　〕

●評価

◎評定は1～14のうち

評価値が90%以上 ・・・・・・・・・・・ a

評価値が70%以上90%未満 ・・・・ b

評価値が70%未満 ・・・・・・・・・・・ c

①「評価対象項目」の（選択）のうち、 [1] は必須項目とする。その他は、選択項目として該当する場合に（選択）のチェック欄にチェックし、評価対象の項目とする。

②必須項目と選択項目で選択した項目を母数として計算した比率（%）計算の値で評価する。

③評価値（　%）＝該当項目数（　）／評価対象項目数（　）